平成26年２月20日

各　位

会　社　名　株式会社ワンダーコーポレーション
代表者名　代表取締役社長　　日下　孝明
（ＪＡＳＤＡＱ コード番号 ３３４４）
問合せ先　常務取締役経営戦略室長　宮本　正明
（ＴＥＬ：０２９－８５８－３３４０）

連結子会社間の合併に関するお知らせ

当社は、平成26年２月20日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社サンレジャー(以下、「サンレジャー」という)と株式会社ケイ・コーポレーション(以下、「Ｋコーポ」という)」の合併について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本合併は連結子会社間における合併であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

１．合併の目的

サンレジャー及びＫコーポは、いずれも当社グループのTSUTAYA事業を主要業務としております。今後、激しく変化する市場に対応し、当社グループにおけるTSUTAYA事業の成長戦力を推進するため、両社の合併により、グループ内のシナジー効果を高め、経営資源の集約と経営効率を図ることを目的としております。

２．合併の要旨

（１）合併の日程

合併承認取締役会(当該子会社)	平成26年２月20日
合併契約書締結	平成26年４月下旬(予定)
合併承認株主総会(当該子会社)	平成26年４月下旬(予定)
合併効力発生日	平成26年６月１日(予定)

（２）合併の方式

サンレジャーを存続会社とする吸収合併方式で、Ｋコーポは解散いたします。

（３）合併に係る割当の内容

吸収合併に係る合併対価の交付等の取扱いにつきましては、今後内容を精査し、決定次第お知らせいたします。

（４）本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はございません。

３．合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
（１） 名称	株式会社サンレジャー	株式会社ケイ・コーポレーション
（２） 所在地	東京都千代田区神田相生町１番地	群馬県前橋市横手町222番地２号
（３） 代表者の役職・氏名	代表取締役社長　三矢　健	代表取締役社長　関口　完
（４） 事業内容	音楽・映像ソフト、書籍、ゲームの販売及び音楽・映像ソフト、コミック等のレンタル	音楽・映像ソフト、書籍、ゲームの販売及び音楽・映像ソフト、コミック等のレンタル
（５） 資本金	100百万円	30百万円
（６） 設立年月日	昭和44年６月２日	昭和62年６月15日
（７） 発行済株式数	23,800株	600株
（８） 決算期	２月末日	３月31日
（９） 大株主・持株比率	当社　61.0% カルチュア･コンビニエンス･クラブ　33.4%	当社　66.5% 関口 完　33.5%

(10)　当該会社の最近３年間の経営成績及び財政状態　（単位：千円）

決算期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年2月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
純資産	△13,014	329,659	113,523	308,067	361,496	376,869
総資産	2,565,655	3,026,655	2,860,981	1,973,122	1,894,905	1,828,054
１株当たり純資産（円）	△651	13,851	4,769	513,445	602,493	628,115
売上高	8,255,889	8,849,128	8,353,015	4,876,429	4,965,145	4,875,061
営業利益	451,144	206,304	79,876	27,769	101,708	38,190
経常利益	415,459	173,632	52,734	20,087	87,228	29,304
当期純利益	376,569	172,434	△220,902	△49,631	53,429	15,373
１株当たり当期純利益（円）	18,833	7,245	△9,281	△82,719	89,048	25,622
１株当たり配当金（円）	―	―	―	―	―	―

(注)上記の持株比率につきましては、サンレジャーの発行済普通株式総数から同社の保有する自己株式総数を控除した株式数(20,720株)を用いて計算しております。なお、サンレジャーは優先株式(3,080株)を発行しており、その全てをカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が所有しております。

４．合併後の状況

（１） 名称	株式会社サンレジャー
（２） 所在地	東京都千代田区神田相生町１番地
（３） 代表者の役職・氏名	代表取締役社長　三矢　健
（４） 事業内容	音楽・映像ソフト、書籍、ゲームの販売及び音楽・映像ソフト、コミック等のレンタル
（５） 資本金	100百万円
（６） 決算期	２月末日
（７） 純資産	未定
（８） 総資産	未定

５．今後の見通し

本合併は、当社連結子会社同士の合併であるため、連結業績に与える影響は軽微であります。

以　上